

参考 高槻市バリアフリー基本構想策定委員会と検討経緯

< 策定委員会の構成 >

委員長 副委員長

(敬称略)

委員	名前	所属・役職
学識経験者	中林 浩	神戸松蔭女子学院大学 教授
	松村 暢彦	大阪大学 工学研究科 准教授
交通事業者	又賀 重樹	西日本旅客鉄道(株) 近畿統括本部 企画課 担当課長
	抱江 卓哉	阪急電鉄(株) 都市交通事業本部 技術部 調査役
	宮田 一夫	京阪バス(株) 大阪地区長
	徳田 忠昭	高槻市自動車運送事業 管理者
道路管理者	大森 卓哉	国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所 事業対策官
	香川 明生	大阪府茨木土木事務所 維持管理課長
公安委員会	澤野 博	大阪府高槻警察署 交通課長
商工関係者	内本 繁	高槻商工会議所 事務局長
	木ノ山 雅章	高槻市商業団体連合会 会長
市民等	北口 昌弘	(団体推薦) 高槻市障害児者団体連絡協議会 推薦
	西村 正	(団体推薦) 高槻市障害児者団体連絡協議会 推薦
	寺田 俊彦	(団体推薦) 高槻市障害児者団体連絡協議会 推薦
	山田 義昭	(団体推薦) 高槻市障害児者団体連絡協議会 推薦
	寺本 徳造	(団体推薦) 高槻市老人クラブ連合会推薦
	米谷 涼子	(女性代表) 高槻市女性人材リスト登録
	吉崎 佳代子	(公募市民)
	増田 典行	(公募市民)
高槻市	山本 政行	副市長
	神田 忠士	技監兼建設部長

アドバイザー

学識経験者	三星 昭宏	近畿大学 理工学部 社会環境工学科教授
関係行政機関	高橋 眞一	近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官
	小富士 貴	近畿地方整備局 建政部 住宅整備課長
	三浦 富士夫	大阪府 住宅まちづくり部 建築指導室 建築企画課 福祉タウン推進グループ 主任専門員

< 庁内幹事会・庁内検討会の構成 >

庁内幹事会

幹事長	副市長	
副幹事長	技監兼建設部長	都市産業部長
幹事	市長公室長	保健福祉部長
	教育管理部長	交通部長

庁内検討会

会長	建設部 土木室長
会員	市長公室 政策企画室
	総務部 総務室 総務課
	保健福祉部 福祉事務所 高齢福祉課
	保健福祉部 福祉事務所 障害福祉課
	建設部 管理室 管理課
	建設部 管理室 交通安全課
	建設部 建築室 建築課
	建設部 土木室 公園施設課
	都市産業部 都市政策室
	都市産業部 開発指導室 開発指導課
	都市産業部 農林商工観光室 商工観光課
	交通部 企画室
	教育委員会 教育管理部 教育政策室
	教育委員会 教育管理部 管理室 学務課
	教育委員会 教育指導部 学校教育室 教育指導課

事務局

建設部 土木室 計画課
都市産業部 開発指導室 建築指導課

<経過>

アンケート調査 平成 22 年 7 月

高齢者、障害者、妊産婦、幼児連れの方を含む市民を対象に、旧基本構想に基づき進められてきた高槻市内のバリアフリー化への取組みに関する評価や、バリアフリー整備の内容・方向性に関する市民ニーズを把握するために、アンケート調査を実施しました。



第 1 回庁内検討会 平成 22 年 8 月 26 日

第 1 回庁内幹事会 平成 22 年 9 月 2 日

第 1 回策定委員会 平成 22 年 9 月 17 日

審議内容：基本構想策定の進め方

アンケート調査結果報告

バリアフリー整備状況について

整備の基本的方針について

ワークショップの進め方



ワークショップ（1） 平成 22 年 10 月 4 日、6 日、8 日

本基本構想のワークショップとして、小学校でのバリアフリー学習を実施しました。これからの社会を担う子供たちが、バリアフリーに対する問題意識を持ち、主体的に取り組む姿勢を育むことを目的として実施しており、障害者や高齢者の方にも参加して頂き、問題点や課題を参加者全員で共有し、その解決策について話し合うことで、心のバリアフリーを醸成しました。



ワークショップ（2） 平成 22 年 10 月 18 日

本基本構想のワークショップとして、郡家周辺地区現地点検を実施しました。新たに追加される重点整備地区である郡家周辺地区において現地踏査を行い、問題点や課題を確認しました。



ワークショップ(3) 平成22年11月4日

本基本構想のワークショップとして、建築物のバリアフリー点検を実施しました。多くの市民に利用されている市役所、総合センターのバリアフリー調査を行い、問題点や課題を確認しました。



- 第2回庁内検討会 平成22年11月10日
- 第2回庁内幹事会 平成22年11月16日
- 第2回策定委員会 平成22年11月29日

審議内容：ワークショップの実施結果報告  
重点整備地区、公共公益施設・生活関連経路  
道路、公共交通事業計画について  
心のバリアフリーについて



- 第3回庁内検討会 平成23年3月11日
- 第3回庁内幹事会 平成23年3月18日
- 第3回策定委員会 平成23年3月29日

審議内容：建築物事業計画について  
基本構想原案の提出  
今後のスケジュールについて



- 第4回庁内検討会 平成23年5月12日
- 第4回庁内幹事会 平成23年5月20日
- 第4回策定委員会 平成23年6月7日

審議内容：基本構想原案の修正  
今後のスケジュールについて  
基本構想(行政素案)の承認



市民意見の募集 平成 23 年 7 月 1 日～8 月 1 日

ホームページに基本構想を公開するとともに、市役所、支所、公民館等にて縦覧を実施した結果、13 件のご意見を頂きました。

第 5 回庁内検討会 平成 23 年 8 月 16 日

第 5 回庁内幹事会 平成 23 年 8 月 18 日

第 5 回策定委員会 平成 23 年 8 月 24 日

審議内容：パブリックコメントに対する市の考え方について  
基本構想(案)の承認  
継続協議会について



基本構想の策定 平成 23 年 9 月 21 日

おわりに

高槻市域は山や川など恵まれた自然に囲まれ、農業や工業の営みもさかんである。多彩な環境のなかで多様な市民生活を展開することができる。とりわけ中心市街地が充実していることにかけては、大阪大都市圏の衛星都市では卓越しているといつてよい。それだけに人びとが市域を縦横に活用できる条件を整えていくことの意味は大きい。ここで策定した「高槻市バリアフリー基本構想」がそのための指針として活用されるものと信ずる。

近年、社会的排除（イクスクルージョン）をなくし、社会的包摂（インクルージョン）を計るというのが世界各国での政治の中心課題となっている。社会的排除という概念は日本ではあまり普及していないが、1990年代から欧米ではさかんに用いられる。さまざまな社会問題を含む大きな概念である。さまざまな要因により個人やグループが社会から阻害されることである。失業・低教育・低所得・貧困な住宅・犯罪・病気・家族崩壊などにより社会参加の機会が損なわれていることを意味する。多くの人々が社会参加できる可能性を広げようとする目標として「インクルーシブ社会の実現」という考え方が急速に浮上してきた。

バリアフリーやユニバーサルデザインを地域や建築に実現しようという動向が進んでいるのも、こうした大きな流れのなかでのことである。障害者や高齢者を含め、人びとが社会活動に参加できやすい状態を実現するべきだというのは、福祉社会を進める運動が押しあげたものであることはいままでもない。同時に社会的に、また経済的にも安定した状態を生み出す為には、多様な人びとの参加が欠かせないという認識も広がってきていた。これは社会全体に対してだけではなく、高槻市というような地域を単位とした場合でも同じである。

わたしたちは本構想の策定の途上、平成23年3月11日に、東北大震災を目の当たりにした。一方では人間が年月をかけて作りあげてきた町が一瞬にして根こそぎ失われたことに、むなしさを感じさせるものであった。しかし他方で人間の生活や地域のあり方を抜本的に考え直すことの必要や、バリアフリーをはじめ街を丁寧に作りあげていくことの尊さも教えられた。被災地がいち早く復興することを願うとともに、自らの近辺の環境を安全で快適なものとする決意をあらたにするところである。

最後になりましたが、本構想策定にあたっては、充実した議論や貴重な意見等、熱心に審議していただいた21名の委員及び、三星教授をはじめ4名のアドバイザーの皆様、あらためて感謝申し上げます。そして、本構想が継続協議会などの場を通じて、より先進的な内容をもって推進されるよう努力したいと決意している。

平成23年9月

高槻市バリアフリー基本構想策定委員会 会長  
神戸松蔭女子学院大学教授

中林 浩